



2019年度全学協議会 補足資料

立命館大学学友会 中央常任委員会

2019年度第1回公開全学協議会



立命館大学学友会

目次

- I. 全学協議会とは
- II. 学友会からの論点提起
 - 1. 教学施策
 - 2. 学生生活の向上
 - 3. 今後の学園創造



I. 全学協議会とは

全学協議会のあゆみ、2019年度全学協議会について

全学協議会とは

- 学生のを大学に届ける「全学協議会」

- 「全構成員自治」の理念に基づき、大学を構成する各パートが立命館大学の学園づくりについて協議する場

- 学友会・院生協議会連合会・
教職員組合・大学(常任理事会)・
立命館生活協同組合(オブザーバー)
の5パートが参加



全学協議会とは

・「要求実現運動」の最たる場

- 全学協議会では教育・研究、学費、学生生活全般の課題について議論
- この議論を踏まえて様々な施策や改善が行われる

全学協議会で実現したこと(一例)



BKC
セントラルアーク設立

2003年、学友会が1万人の学生の署名を集め、BKCの学生交流拠点としてセントラルアークが設立されました



オリター・エンター活動の
制度化と支援

新入生のサポートを行うオリター・エンター活動は、全学協議会を経て大学の制度として位置づけられました



異文化交流
助成金制度の創設

2016年全学協議会を受け、自主的にグループで取り組む異文化・国際交流活動に対する助成制度が創設されました

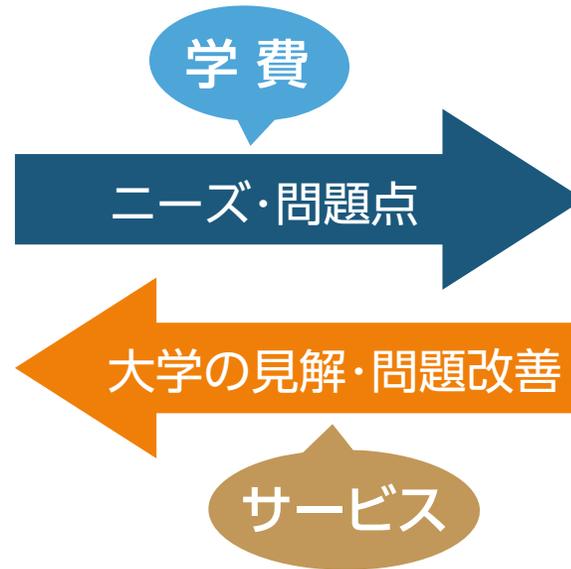


キャンパスづくりへの
学生の参加

2016年全学協議会を受け、キャンパスづくりのプロセスに学生が参加し、意見を反映できるようになりました

全学協議会とは

- 全学協議会のプロセス
学生



大学



- 学生のニーズや感じている問題点を全学協議会で表明し、議論
- 全学協議会での確認事項
 - 「**確認文書**」として明文化され五者が調印

全学協議会のあゆみ

1949

全学協議会の創設

- 「平和と民主主義」「全構成員自治」の実現に向け、
要となる制度「全学協議会」を創設



1949年・第1回全学協議会の風景

これまでの全学協議会

- 学費議論(継続) → 大学からの学費提起を受けて全学協議会を実施
- オリター・エンター制度の確立(1991年)
- キャンパス間シャトルバスの運用開始(1994年)



全学協議会のあゆみ

2003

- 2003年、学友会が1万人の署名を集めBKC・セントラルアークの建設を実現
- 衣笠では諒友館地下食堂「ROSSO」が設立
- 新入生のクラス形成の場として「サブゼミ」導入も



2016

- 2016年、2015年から延期された全学協議会が開催
 - キャンパスづくりへの学生参加や課外環境整備、学費問題、全学協議会のあり方などを議論
 - 学費提起が2年分となり、2018年の全学協議会開催が決定



全学協議会のあゆみ

2018

- 2016年度全学協議会で2年分の学費提起だったことを受け、全学協議会が開催
 - 休講措置、試合等参加証明書、教育・課外の質向上、キャンパス環境整備、キャンパス禁煙施策、学費提起などについて議論
 - 学部生の学費が2019年度のみ単年度提起となり、2019年にも全学協議会を開催することが決定



2018年度全学協議会
確認文書

www.ritsumeai.ac.jp/features/zengakukyo/report/2018

2018年度全学協議会確認文書調印式→



2019年度全学協議会について

• 2019年度第1回公開全学協議会

- 日程 | 2019年10月2日(水) 18:30~20:30(予定)
- 会場 | 朱雀キャンパス(メイン)、3キャンパスにてサテライト開催

• 協議内容

- 2年連続開催であることをふまえ、2018年度全学協議会において残された課題を継続議論
- 学友会など各パートから出される新たな論点について協議
- 大学より提起された2020・2021年度の学費政策について協議



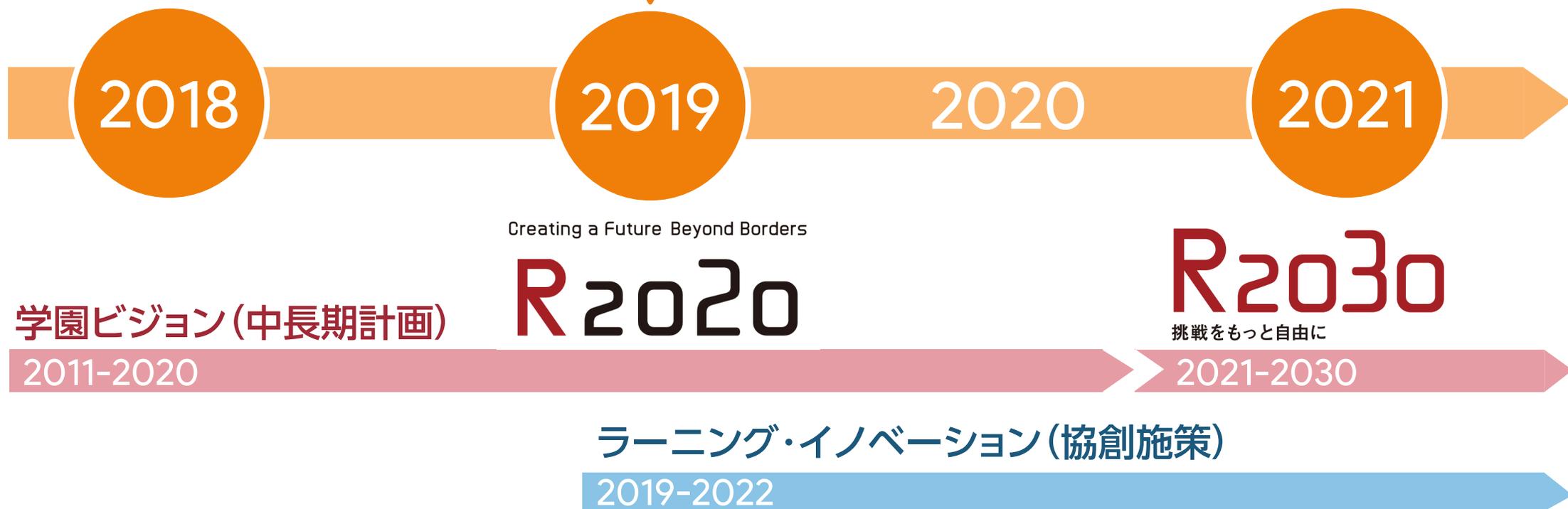
RS学園通信2019
「2019年度全学協議会
へ向けて」

www.ritsumeai.ac.jp/features/zengakukyo/council/2019

2019年度全学協議会について

- 2019年度全学協議会の位置づけ

「R2020」と「R2030」の節目として
未来につなげる重要な全学協議会



学友会の見解・論点整理

• 全学学生アンケート2019

➤ 学生実態を把握した上で意見を集約し、
学友会としての意見を集約

- ✓ 対象 | 立命館大学の全学部生 (32,339人)
- ✓ 期間 | 2019年7月11日～8月4日
- ✓ 回答総数 | 2,055件 (調査対象の6.35%)



全学学生アンケート2019
回答集計報告書

[www.ritsumeai.club/2019/
0830_7596](http://www.ritsumeai.club/2019/0830_7596)

• 大学側との各種懇談会の実施

➤ 全学協議会に向け、教学部や学生部との懇談会など、計16回の懇談会・事務折衝を実施

• 中央委員会での承認

➤ 学生の代表が集まり、学友会の最高議決機関である中央委員会で見解を承認



Ⅱ.学友会からの論点提起

1.教学施策



学生の声・学友会の解釈



シラバスの掲載内容が不十分

受講登録時の本登録期間が短く、1回目の講義を全て受講できない

大学の見解（代表者会議）



受講登録の本登録期間は「あくまでシラバスを熟読した上で、講義を選択する期間（第1回目の講義で受講を決めるものではない）」



シラバスは、受講登録で講義を選択する上で、学生が熟読し、確認すべきもの

The screenshot shows the 'manaba+R' interface for a syllabus page. Callouts point to several key areas:

- 科目名・教員など**: Points to the course title and instructor information table.
- 授業の概要と方法**: Points to the '授業概要' (Lecture Overview) section.
- 受講生の到達目標**: Points to the '到達目標' (Learning Objectives) section.
- 事前に履修しておくが望まれる項目**: Points to the '履修前提' (Prerequisites) section.
- 授業スケジュール**: Points to the '授業スケジュール' (Lecture Schedule) table.
- 授業外学習の指示**: Points to the '授業外学習の指示' (Instructions for Out-of-Class Learning) section.
- 成績評価方法**: Points to the '成績評価方法' (Grading Method) table.
- 受講および研究に関するアドバイス**: Points to the '受講および研究に関するアドバイス' (Advice regarding enrollment and research) section.
- 教科書**: Points to the '教科書' (Textbooks) section.
- 参考書**: Points to the '参考書' (Reference Books) section.

Below the screenshot, a table titled 'シラバスの例' (Example of Syllabus) is shown:

科目名	著者	出版社	ISBNコード	備考
...
...

全学学生アンケート

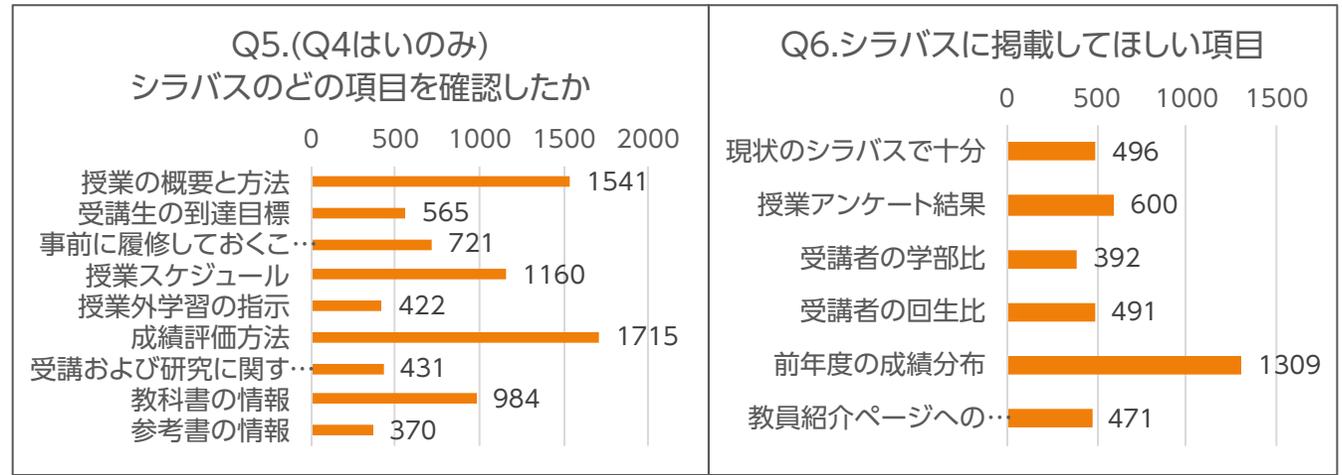
- 学生がシラバスで確認している項目には偏りがある！

学友会からの論点

- 学生に開かれた受講登録の仕組みの構築
- シラバスの記載項目の見直し および より学生に伝わるようなシラバスへの改善
- 以上における検討状況の共有

(各種懇談会での議論)

- ✓ 授業アンケート結果の周知、公開方法の見直し
- ✓ 受講登録の本登録期間の見直し



「全学学生アンケート2019」より



**受講登録で重要なシラバスを、
もっと見やすくわかりやすく！**

実態・学友会の解釈

- 欠席者へのレジユメ配布などのフォローアップは不十分
- manaba+Rにおける教材機能(レジユメ配布)の利用は受講者が50人以上の講義で71%だが、50人以下の講義では26%(2018年度)と差がある



学友会からの論点

- manaba+Rにおける教材機能利用率の数値目標設定
- 上記目標達成に向けた利用方策の具体化・実施



講義の規模や演習/座学など、
講義特性に応じて利用実態が異なるため、それぞれにあわせた利用促進を！

大学の見解

- 立命館大学はSGU(スーパーグローバル大学創生支援)に採択された大学として様々な取り組みを推進



2018年度
海外派遣学生数
全国1位



初修外国語による
クラス数拡充



Beyond Borders Plaza
BBPでの
国際交流・学び



- 学生の語学レベルを示す「CEFR」(語学のコミュニケーションスキルを示す国際標準規格)では英語能力が中級レベル以上である「B1」レベルの学生が増加傾向にある

学生の声・学友会の解釈



英語力が身についたという実感がない

もっと将来に繋がる英語を学びたい

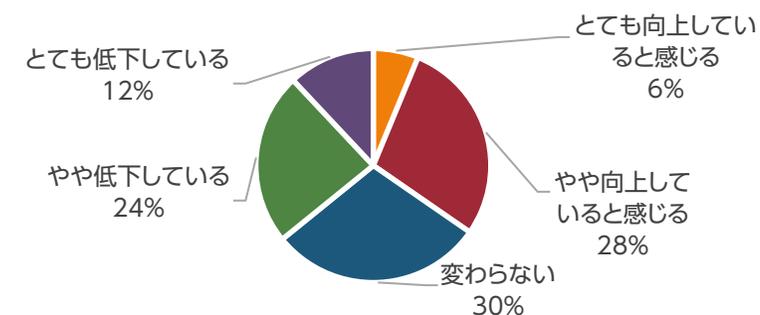
クラスによって講義の進め方に差がある

語学のクラス分けが不適切

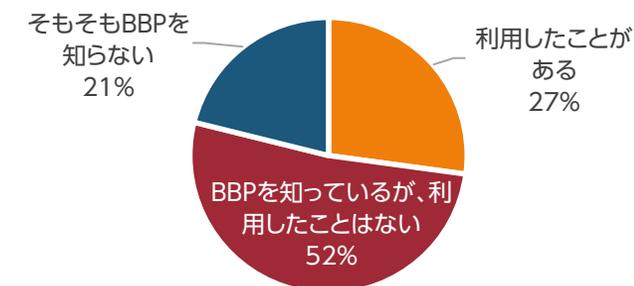


- 「学びと成長調査」や「全学学生アンケート」の結果では、回生を重ねるごとに英語能力の自己評価が低下
- BBPの利用者数は2018年にのべ5万人で目標を達成したと認識されているが、利用した学生はわずか27%

Q21.回生を重ねるごとに英語能力は向上しているか



Q16.BBPを利用したことがあるか



「全学学生アンケート2019」より

学友会からの論点

- 学生が身についたと実感できる外国語の学び
- BBPに限らず、英語の学びに関わる部署が連携した学びの展開
- 各学部の特性に応じた外国語の学びについて学生を交えた議論を行うこと



! グローバルな文化のある立命館だからこそ、
学生が「身についた」と実感でき、実際の能力も上がる語学教育を！

(継続議論する論点)

✓ BBPの周知改善、活用促進

➤ 「何ができるのか知らない」「1人で入りづらい」といった声が多く、活用できているとは言えない

大学の見解

- 初年次教育は、高校までの学びから大学での主体的・専門的な学びへの転換をスムーズに行ってもらうためのもの
- オリター活動は新入生支援を担う、ピア・サポート活動の1つ。学部の学びに応じて多様な形がある



学友会からの論点

(継続議論する論点)

- ✓ オリター・エンターの役割の再検討
- ✓ 新入生への適切な情報提供のあり方の模索

! 新入生への情報提供には学部特性があり、それに応じた大学との連携が不可欠

試合等参加証明書の運用

大学の見解（RS学園通信・代表者会議）

- 2018年度全学協議会より、試合等参加証明書の制度の目的や意義を周知徹底し、学生の自発的・主体的な学習意欲に答えるよう、取り組みを促進することを確認してきた

全学学生アンケート

- 試合等参加証明書を受理されなかったことがある学生が約3割→教員への周知が不十分

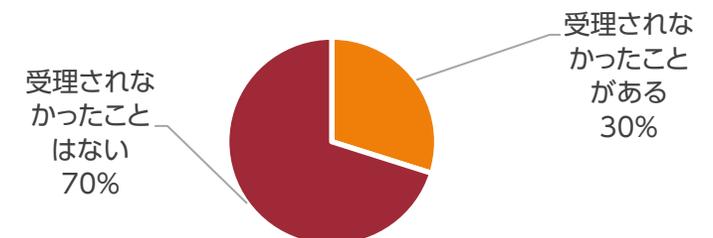
学友会からの論点

（継続議論する論点）

- ✓ 試合等参加証明書の意義・目的の学生・教員への周知徹底



Q26.(Q23試合等参加証明書利用者のみ)
受理されなかったことがあるか



「全学学生アンケート2019」より

そのほか継続議論とする論点

・教員の労働環境改善

別添資料 p4

- 働き方改革の問題もある中で、教員が研究や講義の準備を十分に行えていないという現状があり、教学の質にも影響しかねない
- 働き方改革の問題とともに、今後議論が必要

・土曜授業日・補講日について

アンケート p12-13

別添資料 p4

- 他大学と比較しても、土曜日が授業日や統一補講日に設定されていることが多い
- 課外自主活動が制限されることにもなり、不満の声もある
- 補講日については「成績評価に関わることは行わない」ことが定められているが、学生の成績評価に対する認識との乖離や、一部で成績評価を行う講義があるため、補講に関するルールの周知を教員・学生双方に行ってほしい

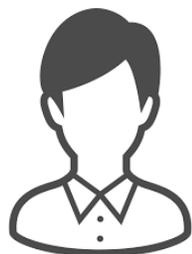


Ⅱ.学友会からの論点提起

2.学生生活の向上

学生の声・学友会の解釈

- 食環境問題は「全学学生アンケート」で重要度1位
- 98%の学生が「食施設が混雑している」と回答



OICの食堂スペースを拡大してほしい

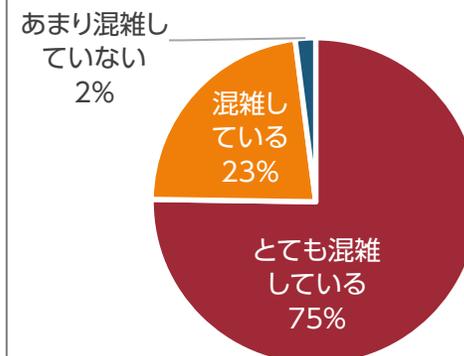
食堂以外で食べられるスペースがほしい

学友会からの論点

- 食堂混雑問題の現状を分析し、中長期的な視点での抜本的な混雑解消対策の実施
- キャッシュレス決済の導入など、利用しやすい環境の整備
- キャンパス特性に応じた食環境課題の改善



Q50.食施設は混雑しているか



「全学学生アンケート2019」より

学生の声・学友会の解釈

- 全学学生アンケートにおいて、
大学内の空調管理に不満を感じる学生は75%



夏は寒すぎて、冬は暑すぎる

季節の変わり目でも空調を使いたい

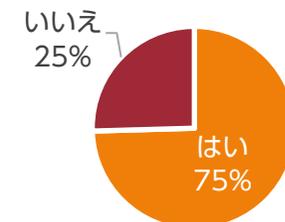
廊下やコンコースが暑すぎる

湿度や換気の管理もしっかりしてほしい

寒すぎて体調が悪くなり、授業が受けられない



Q46.空調管理に不満を感じたことはあるか



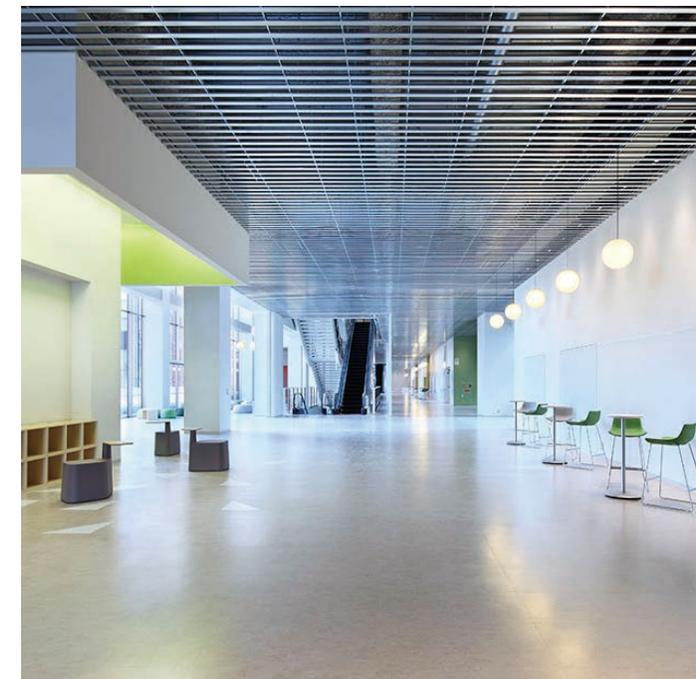
「全学学生アンケート2019」より



空調管理が適切でないと、熱中症になるなどの危険がある

学友会からの論点

- 講義中の空調管理について、
教室の空調設備の利用方法の教員への周知・徹底
- 教室の規模・学生数に応じた空調管理の実施
- 教室だけでなく、課外自主活動施設や
廊下やコンコースなど公共スペースにおける空調管理
- 空調管理の対応プロセスの明確化



! このほかキャンパス特性に応じ、空調管理について懇談会で議論を！

大学の見解 (RS学園通信)

- キャンパス全面禁煙化のあり方は、大学と学友会で意見が分かれたため継続協議
- 2019年7月からの健康増進法の改正に伴い、以下のようにルールを変更

キャンパス全面禁煙

特定屋外喫煙場所を除く敷地内禁煙

- 卒煙支援エリア
→改正法の要件を満たす屋外喫煙場所へ
- 3カ年計画に基づき喫煙率低下と喫煙場所の撤去を目指す
- 教職員はキャンパス内全面禁煙を規程化
- 学生の卒煙を支援する取り組みを継続

POINT!

- ✓ 法律により、大学キャンパス内は特定屋外喫煙場所を除き禁煙
- ✓ キャンパス周辺は自治体条例により禁煙
- ✓ 特定屋外喫煙場所は、受動喫煙防止措置をとるなど規定に基づき設置
- ✓ 特定屋外喫煙場所以外での喫煙は法律違反



キャンパス禁煙施策

全学協の論点

アンケート p19-21

見解文書 p6

学生の声・学友会の解釈

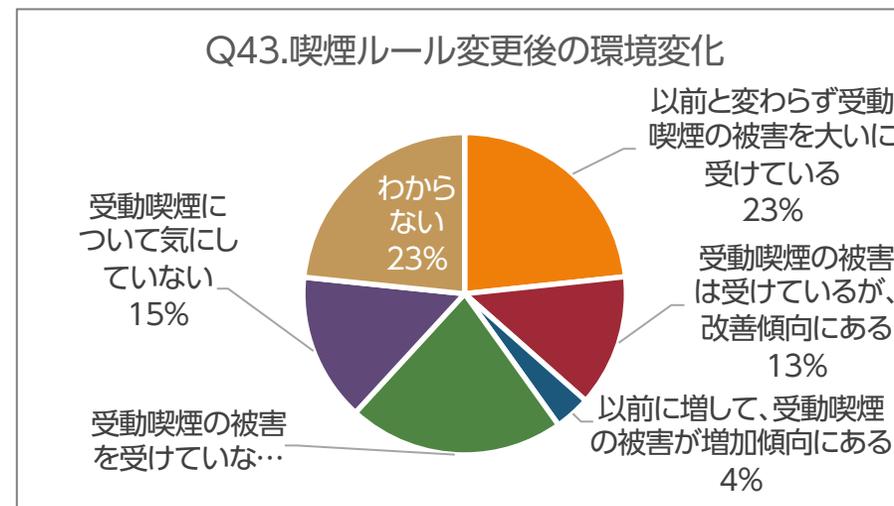
- 「キャンパス全面禁煙」→「特定屋外喫煙場所を除く敷地内禁煙」となることは、実態に即した形となるため一定評価
- しかし「望まない受動喫煙」の影響を受ける学生は未だ多い
 - 全学学生アンケートでは40%が受動喫煙の影響を受けていると回答



学友会からの論点

- 望まない受動喫煙の防止
- 健康を意識した喫煙リスクの周知及び卒煙支援

! 望まない受動喫煙が起こらないように！



「全学学生アンケート2019」より

課外自主活動施設の整備

学生の声・学友会の解釈

- 課外自主活動への参加率は約70%と非常に高い
 - 正課と課外の両立を掲げた「学びの立命館モデル」を策定するなど、他大学に比べ課外自主活動を行う環境は整っている
- 施設整備に関しては未だ途上



OICにBOX施設を整備してほしい

BKCアスリートジムの設備が古い

OICの体育施設が少なく、活動に支障が出る



特に開学5年目のOICでは、団体が活動を行える施設が少なく、他キャンパスに比べて課外自主活動への参加率が低い

課外自主活動施設の整備

アンケート p26

別添資料 p5

学友会からの論点

(懇談会等で議論する論点)

- ✓ 課外自主活動の参加促進のため、学生会館のような施設をOICに整備すること
- ✓ OIC内の体育施設の整備
- ✓ OICアリーナにおける空調整備・運用ルールの改善
- ✓ BKCアスリートジムの設備更新



! 「課外の高度化」を推進するため、長期的な施設整備を！

キャンパス間シャトルバスの運行

学生の声・学友会の解釈

- キャンパス間シャトルバスは、特に課外自主活動に参加する学生にとって重要な交通手段



長期休暇期間や定期試験中にも運行を

OIC発着便が他に比べて少ない

混雑時間帯には増便してほしい



学友会からの論点

(懇談会等で議論する論点)

- ✓ シャトルバスの運行ダイヤ見直し
- ✓ 利用者の多い時間帯におけるバスの増便など混雑対策

通学に関する課題

学生の声・学友会の解釈

- 通学手段はキャンパスによって大きく異なり、課題となる部分にも差異がある



駐輪場に屋根を設置してほしい

BKCのキャンパス中心に近い駐輪場整備を

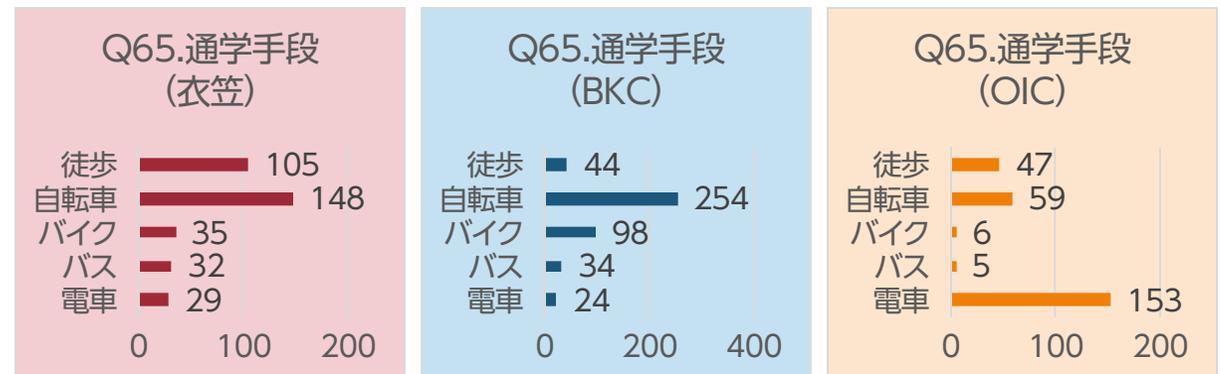
衣笠の自転車ルール・指示で危険を感じた



学友会からの論点

(懇談会等で議論する論点)

- ✓ キャンパス特性に応じた通学課題の改善



「全学学生アンケート2019」より

学友会の解釈

- ジェンダー・セクシュアリティに関する相談など多様な学生からの相談への対応は、これまでの組織体制・支援の枠組みだけでは十分でない

大学の提起（RS学園通信）

- 学生部会議のもとに新たに「性的マイノリティへの支援および多様な支援を支える体制に関する検討プロジェクト」を設置し、適切な支援を検討

学友会からの論点

- ✓ 多様な学生への支援・相談窓口の設置
- ✓ 性的マイノリティへの新たな支援について検討結果を共有すること



学生窓口の拡充・スマート化

学生の声・学友会の解釈



教室予約をWEBからできるようにしてほしい

大学内でキャッシュレス決済導入を

Wi-Fi環境を改善してほしい

祝日・土曜授業日にも
学生窓口を開設してほしい



学友会からの論点

(懇談会等で議論する論点)

- ✓ 学生の声をもとにした学園のスマート化の推進
- ✓ 学生窓口の拡充・教室予約のWEB化

大学における情報宣伝場所の確保・ルール統一

アンケート p27

別添資料 p7

実態・学友会の解釈

- 学部基本棟や教室改修に伴って、情報宣伝場所としての掲示板が大幅に削減され、部員数やイベント参加者数の減少につながる可能性がある
- 施設によって情報宣伝を行う場合のルールが不明瞭で、運用方法が定まっていない

学友会からの論点

(懇談会等で議論する論点)

- ✓ 掲示板数の減少にかわる団体の情報宣伝場所の確保
- ✓ 情報宣伝場所のルール設定および統一



大学における情報宣伝場所の確保・ルール統一

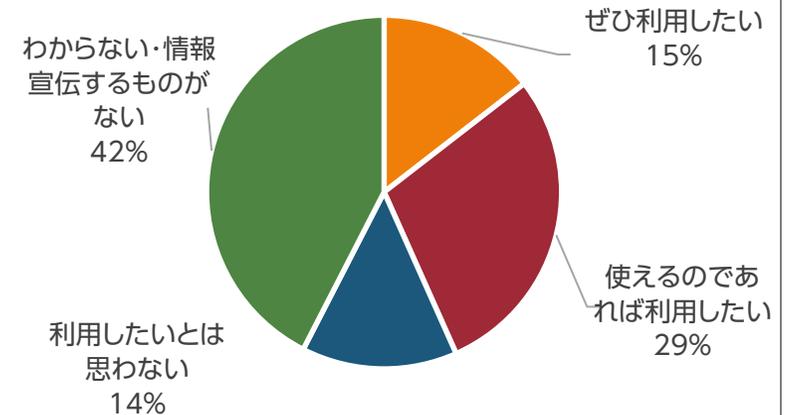
アンケート p27

別添資料 p7

実態・学友会の解釈

- BKC・OICではデジタルサイネージの数が少なく、衣笠では学友会が設置しているが、学部ラウンジのみへの設置で効果的な情宣を行いにくい
- 全学学生アンケートでは、デジタルサイネージを利用したことがある学生は15%と少なかったが、利用したい学生は約半数

Q61.デジタルサイネージを利用したいか



「全学学生アンケート2019」より

学友会からの論点

(懇談会等で議論する論点)

- ✓ 大学によるデジタルサイネージの整備
- ✓ 屋外掲示板のサイネージへの転換



OIC 1F コリドー



BKC セントラルアーク 1F



衣笠 学生会館オープンスペース

大学が設置するデジタルサイネージ (例)

学友会が設置するデジタルサイネージ

実態

- 経済型奨学金は国の政策によって変動するため、その都度対応が必要
- 立命館独自の成長型奨学金は、日本でもトップクラスの支援額を誇る
- 現在の成長型奨学金はR2020計画に基づいた運用で、2020年にも見直しを控える

学友会からの論点

(懇談会等で議論する論点)

- ✓ 奨学金情報・相談窓口の周知及び徹底
- ✓ 成長型奨学金の受給率拡大
- ✓ 現行の奨学金システムの見直し



立命館大学
奨学金・助成金制度

[www.ritsumeai.ac.jp/
scholarship/](http://www.ritsumeai.ac.jp/scholarship/)



Ⅱ.学友会からの論点提起

3.今後の学園創造について



2020・2021年度の学費提起

全学協の論点

見解文書 p7

大学の提起 (RS学園通信)

2020・2021年度学費政策

2019年度は、継続課題に関して具体策や財政規模を決定できず、学費政策の前提となる教学政策などについて、今後具体化を行う。2021年度全学協議会も視野に入れ、2019年度は教学政策・学費政策それぞれの検討を進める出発点とする。

- 以上の状況を踏まえ、2021年度までの学費政策では、基準授業料は据え置き、現行の授業料改定方式を継続

現行の授業料改定方式

$$\text{新年度授業料} = (\text{基準授業料}) \times (1 + \text{物価指数アップ率})$$

- ・「物価指数アップ率」は、消費者物価指数が1%以上の上昇時に適用。物価が下がる場合は考慮しない。
- ・物価指数が変化しない(1%未満の上昇含む)場合は、式には「0」と適用

2020・2021年度の学費提起

全学協の論点

見解文書 p7

大学の提起 (RS学園通信)

2020・2021年度学費政策

- 今回提起した学費政策は、入学手続者数を踏まえて、財政規模を維持することが前提
 - 見直しによる減収や、教学条件の悪化をさせないこと、増収を図るものではない
- 2019年度以前の入学者の授業料は、入学時のもので据え置き

入学金

他大学に比べ
高い水準の入学金
30万円→20万円
に減額

新入生特別減免

1年次授業料に適用されていた
16万円の新入生特別減免が
廃止 (薬学科は除く)

物価指数に基づく改定

2018年度の消費者物価指数
アップ率(1.4%)に基づき
授業料が1.3~3.2万円増額

➔ 2020年度以降、4年間で平均約13万円(薬学科は6年で約25万円)の学費実質値上げ

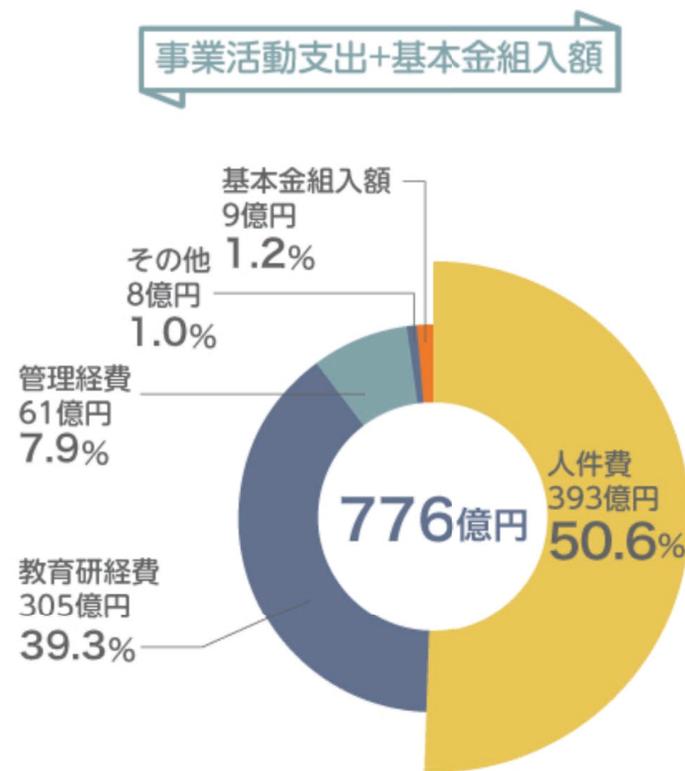
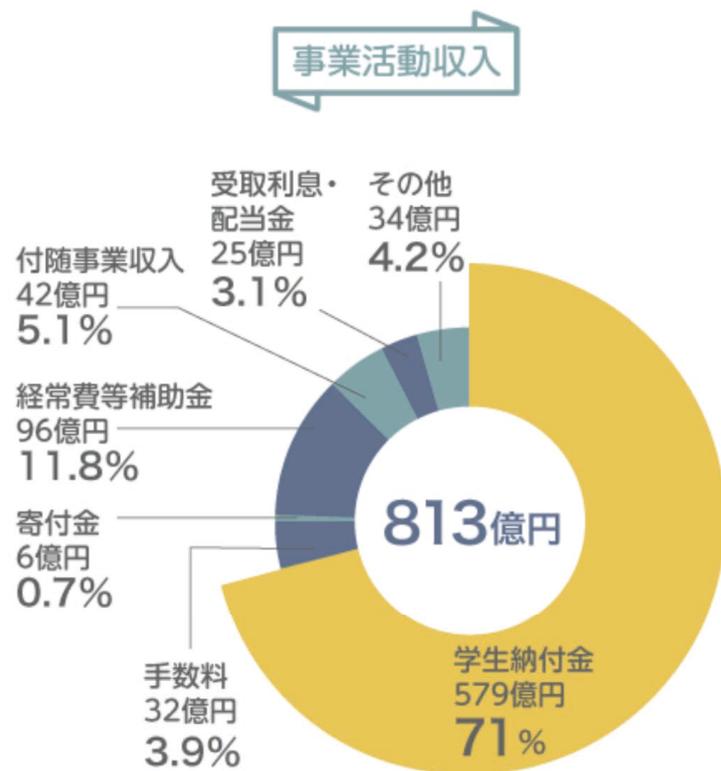
2020・2021年度の学費提起

全学協の論点

見解文書 p7

参考 | 学校法人立命館の財政

- 2018年度事業活動収支 → 収入の約70%は学納金(学費)、支出の約50%は人件費



立命館の
財政運営の考え方

[www.ritsumeai.ac.jp/
financialreport/](http://www.ritsumeai.ac.jp/financialreport/)

学友会からの論点

- 今回の学費政策について、教学議論を伴わない実質的な学費増額に対し、大学財政のあり方に理解は示すが、学生への説明が不十分
(論点)
- 2022年度以降の学費提起がなされる2021年度全学協議会の議論の根拠となりうるような財政の可視化を行うこと
- 全ての学生が立命館の財政政策そのものと、教学施策とキャンパス整備との関係性について納得でき、理解できるような状態にすること
- 「R2030」をはじめとした中長期的な視点において、学費への依存度を下げる取り組みを具体化し、確実に実施すること

! 大学財政を学生により開かれた形で公開を！

大学の提起（RS学園通信）

- RS学園通信：仲谷総長のメッセージ
「わくわくする大学・キャンパスの創造を」
 - 最先端の研究成果を日常的に体験するなど、知的好奇心を喚起する機会、そこから課題の発見や挑戦にいざなう、質の高いグローバルな教育・研究環境を創り上げることが重要
 - そのためには、「わくわく」する大学・キャンパスの創造が不可欠



BKCで行われたロボットの実証実験

学友会の解釈

- 学友会としても「わくわくするキャンパス創造」を議論する方向に賛同
- 最先端の研究技術を取り入れ、知的好奇心を喚起する環境を整備してほしい

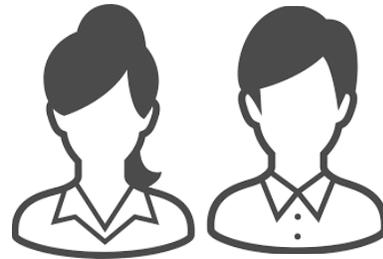
学生の声・学友会の解釈

- 全学学生アンケートでは、わくわくする学園づくりには何が必要か、自由記述で回答を得た
- 新たな環境を整備してほしいという声よりも、現状の課題を改善してほしいという声が多い

食施設の混雑を改善してほしい

通学の課題を改善してほしい

空調問題の改善を



最新の研究に触れられる環境を

授業でのICTの利用促進

混雑状況の見える化を

学友会からの論点

- キャンパス環境の見える化(食堂や駐輪場の混雑可視化など)
- 授業へのICT利用促進およびBYOD(Bring Your Own Device)の推進
- 知的好奇心を喚起するような最先端の研究にふれあえる環境の整備

実態

教学の質の可視化

協創施策など教学改革の効果検証

学生の成長の可視化

- 2019年4月には「大学評価・IR室」が開設され、学内における自己点検・評価のしくみを構成
 - 内部質保証に関しては可視化できていない部分も多い
- 教学については、卒業生への追跡調査など、多面的な検証を行う必要がある
 - 試験的に一部の卒業生への調査を2019年度に実施
- 課外自主活動についても、学生がどのような活動を行い、どのように成長していったのか可視化できれば、大学の魅力発信の一助となる



立命館大学
大学評価・IR室

[www.ritsumeai.ac.jp/
assessment/](http://www.ritsumeai.ac.jp/assessment/)

学友会からの論点

- 本学の内部質保証・成果検証を行う取り組みをさらに推進し、内外から学びの質を保証する仕組みづくりを行うこと
- 本学に入学した学生が、どのように学び、どのような活動を行い、どのように成長していったのかを可視化し、データとして蓄積できる仕組みづくりを行うこと

 学生が様々なことにチャレンジできるよい、学生の成長を応援する仕組みづくり
+ 学生の学びの実感を高める取り組みを！

学友会の解釈

- 今回提起している論点には、大学が行う様々な施策を推進すると同時に、可視化を行わなければならない課題も多くある
 - ▶ 大学が行っている取り組みは、発信しなければ学生の実感にはつながらない
- 立命館には正課・課外を通して、国内のみならず世界的に活躍する学生がいる
 - ▶ 学生の様々な活動を発信することで、良い刺激になり切磋琢磨する

学友会からの論点

- 大学が行う様々な施策などの取り組みを学生に見える形で発信すること
- 教学施策・学園財政や立命館の学びについて可視化すること
- 学生の様々な取り組みを学内外に発信すること

大学スポーツの高度化

別添資料 p9

実態・学友会の解釈

- 大学スポーツは、大学スポーツコンソーシアム KANSAIやUNIVASの創設をはじめ、社会的に大きく変革の時期にある
- 立命館大学はどちらにも加盟し、大学スポーツをとりまく環境は、他大学と比較しても先進的



大学の提起（代表者会議）

- 「する・観る・支える」スポーツの循環を作り、4年間に1回は大学チームを応援する文化を

学友会からの論点

- 大学スポーツの高度化・課外の高度化に向けた環境の整備および情報共有